

第6次新宮町総合計画前期基本計画
令和3年度実績報告書

令和4年7月22日

福岡県新宮町

はじめに

総合計画策定の趣旨

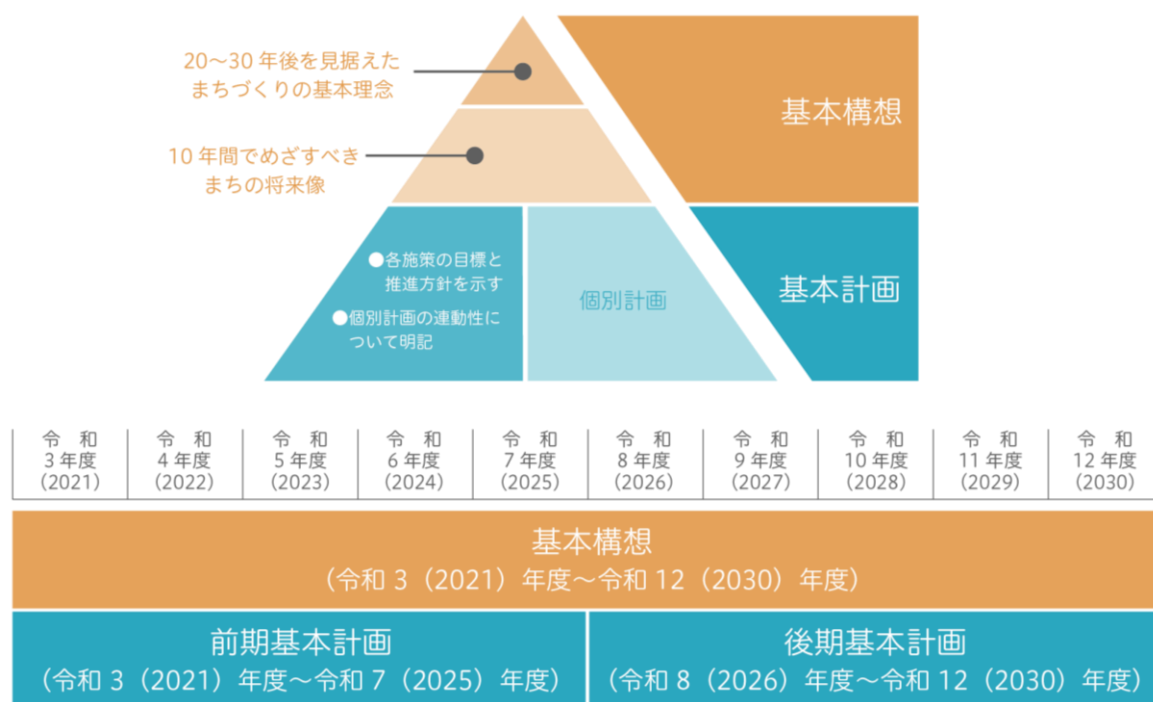
新宮町では、今後の10年間、新たな開発の動きもあり引き続き人口は増加する一方、地域によっては高齢化や人口減少が進み、住民ニーズや地域課題の多様化など、行政運営は一層厳しくなることが見込まれます。その後は令和22(2040)年頃をピークに人口は減少し、特に20年後から30年後には超高齢社会へと向かう大転換期を迎えることが予想されます。

そのため、今後の町の姿やあり方をしっかりと捉え、それに相応しい基本理念や将来像を定義するとともに、今後10年間の取り組みとして、『20年後や30年後の社会情勢などを踏まえた準備期間としての方向性』と『引き続き発展性のあるまちづくりに対応した方向性』の2つの視点で整理した令和3(2021)年度を始期とする、第6次新宮町総合計画を策定しました。

計画の構成と期間

基本構想は、『20年後や30年後の社会情勢などを踏まえた準備期間としての方向性』と『引き続き発展性のあるまちづくりに対応した方向性』の2層構造を基本としています。

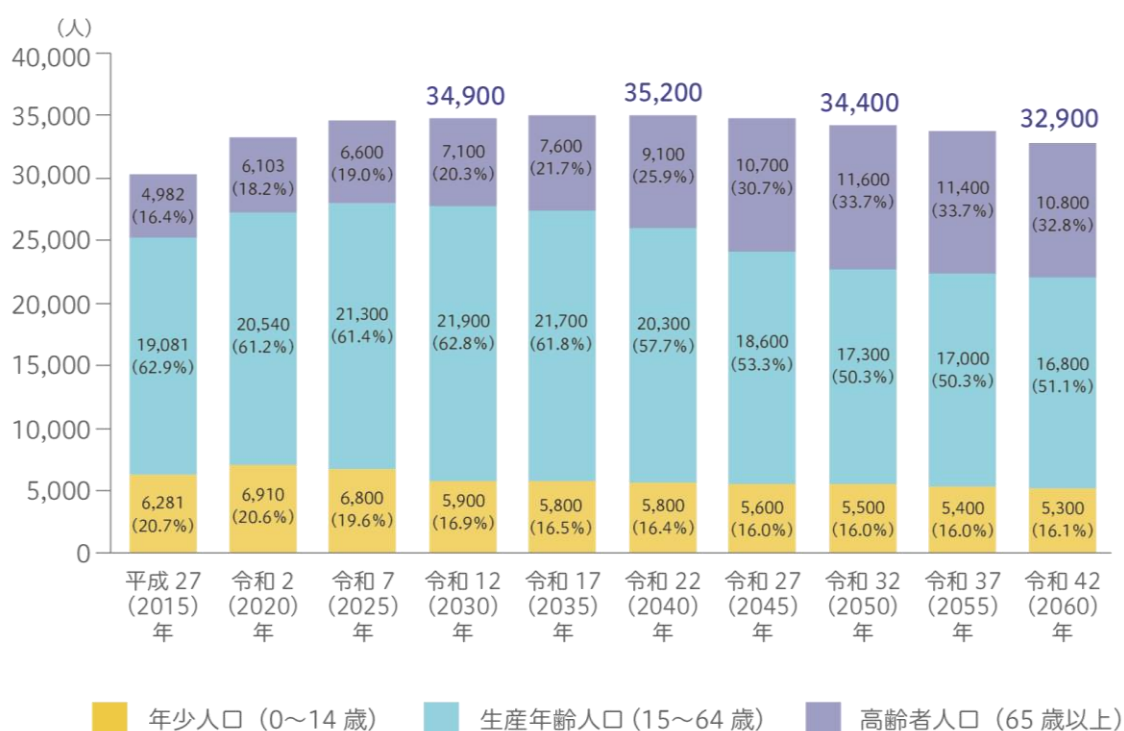
基本計画は、基本構想に掲げる目標の実現に向け、町が取り組むべき事業の方向性や施策を示すものです。



まちの将来人口

総合計画における人口の推計は、各分野の基本計画を推進していくうえで根幹的な指標となるものです。全国的に人口が減少傾向にある中で、町の人口は大規模な宅地開発や分譲マンションの建設を受け、結婚を契機とした若年層や子育て世代の転入などにより増加を続けています。しかし、人口増加の大きな要因であった開発もピークを越え、令和22(2040)年まで緩やかに人口が増加したあと横ばいが続き、令和27(2045)年頃から徐々に人口が減少に転じることが予想されます。

人口の緩やかな増加傾向を考慮し、基本構想の目標年度である令和12(2030)年の将来人口を34,900人と想定します。



将来像

分野別の基本目標

主 要 施 策

人がいきいき
未来をつむぐ
挑戦するまち
しんぶん

基本目標1

子育て環境が
充実したまち

- 1-1 子育て支援の充実
- 1-2 就学前教育・保育の充実
- 1-3 学校教育の充実
- 1-4 青少年健全育成の推進

基本目標2

自分らしく豊かな
心を育むまち

- 2-1 生涯学習の推進
- 2-2 生涯スポーツの推進
- 2-3 歴史の継承と文化の振興
- 2-4 人権施策の推進

基本目標3

共に支え合い健やか
に暮らせるまち

- 3-1 健康づくりの推進
- 3-2 地域福祉の充実
- 3-3 高齢者福祉の充実
- 3-4 障がい者福祉の充実
- 3-5 社会保障の充実

基本目標4

環境にやさしく
快適に暮らせるまち

- 4-1 環境にやさしい社会の形成
- 4-2 魅力ある土地利用の推進
- 4-3 安全に移動できる道路網の整備
- 4-4 公園・緑地と自然環境の保全と整備
- 4-5 公共交通などの充実
- 4-6 生活環境の充実

基本目標5

安全で安心して
暮らせるまち

- 5-1 災害に強いまちづくりの推進
- 5-2 防犯対策・交通安全対策の強化
- 5-3 住民生活の保護

基本目標6

地域の魅力を活かし
賑わいを生みだすまち

- 6-1 農水産業の振興
- 6-2 商工業の振興
- 6-3 観光の振興
- 6-4 地域振興の推進

基本目標7

みんなの力でつくる
持続可能なまち

- 7-1 協働のまちづくりの推進
- 7-2 効率的な行財政運営
- 7-3 情報化の推進

主要施策の取組実績

基本目標 1：子育て環境が充実したまち



【方向性】

- ▶小・中学校では地域と共に学ぶコミュニティ・スクールを推進するとともに、ICT(情報通信技術)環境の整備など学習環境の充実に努めていきます。
- ▶子育てに関しては、妊娠期から子育て期に対する切れ目のない継続した支援を行い、安心して出産や子育てができる環境を整備するとともに、児童虐待の早期発見・早期対応のため、子どもを見守る体制をより一層強化します。また、保育所・認定こども園や学童保育所の施設整備や保育士の確保など、待機児童の解消に向けた対策を行っていきます。

主要施策 1－1：子育て支援の充実

(1)令和3年度取組の概要

- ▶子育て世代包括支援センター「しんぐう子育てサポートセンター」を中心に、月2回の相談事業を実施したほか、乳児家庭全戸訪問や養育支援訪問を行いました。特に令和3年度は産前産後の相談事業に重点をおいて切れ目のない子育て支援へとつなげました。
- ▶子育て支援センター「かんがるーひろば」では、新型コロナウイルス感染症対策として利用組数に制限を設けて開所しているため、利用者数は伸びていませんが、相談受付のみ継続して実施するなど、可能な限り育児に関する悩みや不安が解消するよう努めました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある保護者の割合 (3歳児の保護者)	77.9%	80.0%	79.4%	80.2% (78.7%)
子どもの育てにくさを感じている保護者の割合(3歳児の保護者)	27.4%	24.6%	23.0%	21.9% (24.7%)
虐待の可能性のある行為をしている保護者の割合(3歳児の保護者)	26.5%	27.0%	25.7%	21.2% (23.9%)
ファミリーサポート会員数 (まかせて会員)	35人	35人	38人	40人 (35人)

※ R7目標値の()の値は、新型コロナウイルス感染症の影響が今後5年間継続した場合を想定した目標値。

主要施策 1－2：就学前教育・保育の充実

(1)令和3年度取組の概要

- ▶延長保育や障がい児保育などの事業に対して補助金等による支援を行うとともに、届出保育施設には運営費の助成や職員の健康診断費用に関する補助を実施しました。
- ▶町立幼稚園については、園児の減少と施設の老朽化を鑑み、令和6年度に3園を2園体制とすることとしました。
- ▶病後児保育については、鹿部保育所での事業が令和3年度をもって廃止されましたが、事業継続のために病児保育事業を実施している別の施設へ移管しました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
待機児童数（保育所等）	21人	40人	18人	0人
小学校と幼稚園・保育所との交流	5校	5校	5校	5校

主要施策 1－3：学校教育の充実

(1)令和3年度取組の概要

- ▶全学校の全ての教室に電子黒板を配備し、ICT環境の整備を進めました。また、新宮町ICT活用ガイドを適宜更新し、ICT支援員のサポートを受けながらICT教育の推進と併せて情報モラル教育の充実を図ることができました。
- ▶定期的な教育相談週間、いじめ等に係る無記名アンケートの実施、相談ポストの設置のほか、児童生徒、保護者の様々な悩みに対応する教育相談体制等の充実及びSC(スクールカウンセラー)、SSW(スクールソーシャルワーカー)、心の教室相談員、教育相談員との連携を図る教育相談連絡協議会の充実に努めました。
- ▶各学校からの通学路改善要望箇所を9月上旬に集約し、通学路安全推進協議会を9月中に実施。次年度当初予算への反映や当該年度の整備箇所を例年以上に進めることができました。
- ▶学校施設等長寿命化計画に基づき、新宮小学校の屋上防水工事や外壁改修工事などの長寿命化改修を実施することができました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
通学路の整備小学校区	2校区	4校区	4校区	毎年4校区
学校施設等長寿命化計画の進捗率	43.8%	54.9%	66.9%	95.6%
オンライン授業の整備率	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%

主要施策 1－4：青少年健全育成の推進

(1)令和3年度取組の概要

- ▶こども体験クラブを2回実施したほか、相島散策やサマーキャンプなどの野外活動を通して、子どもたちの地域への関心を高めることができました。一方で通学合宿は2年間実施できていないため、各団体間での引継ぎのサポートが課題となっています。
- ▶青少年指導員による夜間巡回指導は、新型コロナウイルス感染症の影響による中止や悪天候による中止もあり、参加人数自体は伸びませんでした。年間11日14回実施することができました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
青少年指導員巡回の参加延べ人数	46人	46人	39人	60人
通学合宿への参加児童の人数	104人	0人	0人	150人
子ども・ジュニア・シニアリーダーの総人数	56人	52人	60人	70人

基本目標 2：自分らしく豊かな心を育むまち



【方向性】

- ▶ライフステージに応じた生涯学習、生涯スポーツを推進していくとともに、新宮町の有する豊かな自然や歴史・文化への理解を深め、芸術や文化を介した多彩な交流を展開していくことで郷土に対する愛着と誇りを持ち、かつ、国際化・情報化社会にも対応できる人材の育成と、健やかで潤いのある暮らしが実現できる環境づくりをめざしていきます。
- ▶多岐にわたり新たに増えていく人権課題に対応するために、様々な場を利用して教育や啓発活動をより一層推進し、人権意識の高揚に努めていきます。

主要施策 2－1：生涯学習の推進

(1)令和3年度取組の概要

- ▶アンケートの結果や好評だった講座の継続などニーズを反映させてそぴあしんぐうやシーオーレ新宮で生涯学習講座や人権学習会を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症による施設休館などの影響で計画を下回る開催となりました。
- ▶図書館においては、新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休館を余儀なくされる中、蔵書の充実に努めたほか、JR新宮中央駅や西鉄新宮駅に返却用ポストの設置や小中学校図書館へ巡回貸し出し、ICリーダー導入による自動貸出など利用者の利便性向上に努めましたが、計画を下回る貸出冊数となりました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
生涯学習講座実施数	44講座	22講座	24講座	48講座
生涯学習指導者登録数	106人	106人	106人	130人
住民 1 人当たりの貸出冊数	6.4冊	5.2冊	4.9冊	7.3冊

主要施策 2－2：生涯スポーツの推進

(1)令和3年度取組の概要

- ▶新型コロナウイルス感染症の影響でイベントや大会は中止となりましたが、12月にはアビスパ福岡の指導者を講師に招き、指導者や保護者を対象に指導者人権講習会を実施することができました。
- ▶スポーツ振興くじ助成金を活用し、緑ヶ浜テニスコート夜間照明のLED化工事を施工しました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
スポーツ協会会員数	585人	560人	471人	600人
住民の健康増進に係るイベント数	4事業	0事業	3事業	7事業

主要施策 2 - 3 : 歴史の継承と文化の振興

(1) 令和3年度取組の概要

- ▶新型コロナウイルス感染症の影響による歴史資料館の臨時休館で、目標の入館者数を達成することはできませんでしたが、企画展などでの公開に備えて、下府地区の開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査による出土遺物の整理・保存を行いました。
- ▶「3面マルチ映像」の再利用及び改編を可能とするための手続きを進め、一部映像展示を行いました。また、民俗資料については、計8点の民具の寄贈を受けました。
- ▶そぴあしんぐうの利用者や芸術文化祭への参加者数は伸び悩みましたが、新宮町文化振興財団によるイベント、コンサートの実施や町民参加型ミュージカル、おでかけそぴあ、スポット講座など多数のイベントを開催しました。

(2) 主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
そぴあしんぐうの利用者数	17,371人	5,676人	10,713人	18,000人 (10,000人)
芸術文化祭への参加者数	4,726人	1,785人	2,124人	5,000人 (3,000人)
歴史資料館の利用者数	2,492人	1,030人	1,162人	2,600人 (1,200人)

※ R7目標値の()の値は、新型コロナウイルス感染症の影響が今後5年間継続した場合を想定した目標値。

主要施策 2 - 4 : 人権施策の推進

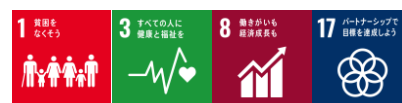
(1) 令和3年度取組の概要

- ▶新型コロナウイルス感染症の影響で目標どおりの学習会等の開催とはなりませんが、指導者人権講習会やジュニアスポーツクラブの指導者・保護者に対する学習会に加え、令和3年度からは町民が誰でも参加できる人権セミナーを実施しました。
- ▶人権啓発活動の一環として、町広報誌での連載や人権フェスティバルの開催、パネル展示を実施しました。また、令和4年度に実施する人権意識調査に向けて調査概要等の検討を行いました。
- ▶啓発活動を効果的かつ効率的に実施するため、福岡・筑紫地域人権啓発活動ネットワーク協議会において、構成自治体等における啓発活動について情報交換を行いました。また、人権擁護委員、行政相談委員、社会福祉協議会と連携しながら、毎月第1火曜日にはそぴあしんぐうで「心配ごと・福祉なんでも相談」を開設しました。
- ▶審議会等における女性委員の登用率は前年度より4.4%増となりましたが、庁内管理職における女性登用率は退職なども影響し、前年度と変わらない割合となりました。男性職員の育児休業等の取得率においては、前年度より30%増加することができました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
審議会等における女性委員の比率、 登用率	26.7%	25.0%	29.4%	35.0%
庁内管理職における女性登用率	18.8%	18.8%	18.8%	25.0%
庁内男性職員の育児休業等の取得率	33.3%	20.0%	50.0%	100%
住民・団体を対象とした人権学習会 の開催数	8回	4回	6回	14回

基本目標 3：共に支え合い健やかに暮らせるまち



【方向性】

▶高齢者人口の増加に伴う介護保険サービスの利用増加や支援を必要とする人の増加に加えて、福祉の現場では人材の不足が深刻となっています。できる限り健康で自立した生活を送ることや、お互いが支え合っていくことが必要となることから、その人の特性に応じた支援を実施し、健康づくりや介護予防を進め、住民が主体となった支え合いのまちづくりを行っていきます。

主要施策 3－1：健康づくりの推進

(1)令和3年度取組の概要

- ▶新型コロナウイルス感染症の影響により、特定健診等の受診率は伸びなかったものの、より分かりやすい健診案内ガイドブックの作成や新たにショートメールによる受診勧奨を行いました。
- ▶特定保健指導については、初回面談は健診当日に行うことで順調に進みましたが、後日面談は低調でした。
- ▶健康づくり関連事業は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、回数、参加者数ともに延ばすことができませんでした。
- ▶高齢者肺炎球菌や二種混合の予防接種については、広報、HP等での周知のほかに、未接種者には個別勧奨を行うなど、接種率の向上を図りました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標		R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
特定健診・特定保健指導 の受診率	健診	33.7%	31.1%	31.2%	60.0%
	指導	54.7%	52.3%	29.9%	60.0%
メタボリックシンドロームの該当者 及び予備群等の割合		25.1%	25.3%	23.9%	24.0%
健康づくりに関する事業 の実施回数と参加者数	事業数	75回	60回	60回	100回
	参加者	190人	174人	140人	250人
予防接種率	高齢者 肺炎球菌 (65歳)	51.0%	49.5%	50.1%	60.0%
	二種混合	51.9%	59.0%	58.6%	66.0%

主要施策３－２：地域福祉の充実

(1)令和3年度取組の概要

- ▶見守り活動や緊急時の活用のために避難行動要支援者避難支援リストを民生委員・児童委員や自主防災組織に配付しました。
- ▶体調の変化などの異常を早期に発見するために、見守りネットワークの協力事業者と連携協定を結びました。
- ▶福祉ボランティアについては、新型コロナウイルス感染症の影響で活動ができず、団体数、人数ともに減少傾向にあります。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
福祉ボランティア団体の数	10団体	9団体	8団体	12団体
福祉ボランティアの数	94人	280人	256人	110人

主要施策３－３：高齢者福祉の充実

(1)令和3年度取組の概要

- ▶福岡県70歳現役応援センターが実施する講演会や相談会のチラシ配布、広報誌等での普及啓発を実施しました。また、ふれあい交流館をシニアクラブの活動の場として提供し、会員相互の交流を図りました。
- ▶高齢者の健康づくりや介護予防活動を支援するため、介護予防サポート事業のうちセルフサポートポイントの要件を緩和しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、介護予防教室や地域サロン等の開催回数が減少し、事業全体のポイント付与数が伸び悩みました。
- ▶認知症サポーターキャラバン・メイトによる地域での認知症サポーター養成講座を実施しました。また、窓口への認知症ケアパスの設置やもの忘れ外来等医療機関の情報に特化したチラシを作成し、窓口や行政区へ配付をしました。
- ▶住民主体通所型サービス助成金の要件を見直すことで、利用団体の増加につながりました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
要介護認定率	14.6%	14.6%	14.7%	現状維持
住民主体通所型サービス助成金の 助成団体数	2団体	3団体	5団体	5団体
介護予防サポートポイント申請件数	319件	315件	314件	335件
認知症サポーター養成者数	755人	786人	816人	1,000人

主要施策 3 - 4 : 障がい者福祉の充実

(1)令和3年度取組の概要

- ▶就労を希望する人や家族からの相談に対して、関連機関と連携し、本人や家族の意向に沿った就労支援を行いました。
- ▶移動支援の利用者及び利用時間も増加しており、障がい者の社会参加の促進へつながっています。
- ▶指定特定相談支援事業者の新規申請はなかったものの、障がい児通所施設の新規開設に伴い、指定障がい児相談支援事業者は増やすことができました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標		R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
移動事業の延べ利用者数 と延べ利用時間	延べ 利用人数	235人	177人	181人	250人
	延べ 利用時間	2,919時間	1,633時間	2,049時間	3,100時間
指定特定相談支援事業者 並びに指定障がい児相談 支援事業者の指定数	指定特定	4箇所	4箇所	4箇所	5箇所
	指定 障がい児	3箇所	3箇所	4箇所	4箇所

主要施策 3 - 5 : 社会保障の充実

(1)令和3年度取組の概要

- ▶新型コロナウイルス感染症の影響で「しごと・くらし相談室」の利用は増加していますが、相談内容が複雑化しているため長期化するケースが多く、継続性を要するため、年度内での終結は難しくなっています。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
しごと・くらし相談室利用者の 相談案件終結数	30人	35人	36人	40人

基本目標 4：環境にやさしく快適に暮らせるまち



【方向性】

▶交通環境や生活環境の問題、西部・中部地域と東部・相島地域との格差など、暮らしやすい環境整備への思いは強くなる一方、地球環境への負担軽減を図り、持続可能な循環型社会を実現する必要があります。そのためにも、まちの宝である恵み豊かな自然環境を保全し、活用しながら次世代へ継承していくとともに、地域の特性を活かしつつ、誰もが暮らしやすさを実感できる都市環境や居住環境を創っていきます。

主要施策 4－1：環境にやさしい社会の形成

(1)令和3年度取組の概要

- ▶2050年カーボンニュートラルを目指す町として、令和4年2月にゼロカーボンシティ宣言を行いました。
- ▶行政が率先して温室効果ガスの排出量削減に取り組むため、第2次新宮町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を策定しました。
- ▶1人当たりのごみ排出量は若干減少傾向にあります。古紙類等集団奨励金や生ごみ堆肥化容器等購入助成金の利用は増えましたが、リサイクル率の向上にはつながりませんでした。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
1人1日当たりのごみ排出量	844 g	838 g	836 g	789 g
ごみのリサイクル率	16.6%	13.0%	13.0%	19.3%

主要施策 4－2：魅力ある土地利用の推進

(1)令和3年度取組の概要

- ▶都市計画マスタープランに基づき、適切な土地利用を推進するため、三代地区及び下府地区を市街化区域編入又は地区計画の決定を行いました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
建築協定の決定数	12件	12件	12件	14件
緑地協定の決定数	10件	10件	8件	12件
地区計画の決定区域面積	240.4ha	246.2ha	300.3ha	299.7ha
土地区画整理事業の施行地区数	6地区	6地区	6地区	8地区

主要施策４－３：安全に移動できる道路網の整備

(1)令和3年度取組の概要

- ▶三代土地区画整理事業と併せて都市計画道路を整備するために施工方法や法線の見直しを行い、都市計画の変更手続きを行いました。
- ▶町道的野～寺浦線等の町道の整備に伴う歩道設置を行いました。また、道路パトロールを行うことにより、道路陥没等の危険な状況を早期発見し、補修対応等することで、事故発生を防ぎました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
都市計画道路整備率 (整備済延長／計画延長)	54.8%	54.10%	54.10%	57.6%
通学児童の交通事故発生件数	2件	2件	0件	0件
狭あい道路実延長	62,446m	62,431m	62,431m	62,296m
道路瑕疵事故*の年間件数	1件	0件	0件	0件

※ 道路瑕疵事故とは、道路整備状況、交通安全施設の未整備等に起因する事故のことをいう。

主要施策４－４：公園・緑地と自然環境の保全と整備

(1)令和3年度取組の概要

- ▶新宮ふれあいの丘公園の整備を進めたことで、人口1人当たりの都市公園面積を目標以上に増やすことができました。また、公園の適切な維持管理を行うことにより事故発生を防ぐことができました。
- ▶原上区を中心に荒廃森林整備事業を行いました。また、的野区の未整備森林の所有者に対しては、今後どのように管理していくのか、森林経営管理制度意向調査を行いました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
人口1人当たりの都市公園面積	6.06㎡	6.25㎡	6.80㎡	6.73㎡
公園施設瑕疵事故*の年間件数	1件	0件	0件	0件
荒廃森林整備事業の事業実施面積	14.3ha	11.1ha	7.24ha	53.7ha
森林保全活動の実施回数	6回	2回	2回	10回

※ 公園施設瑕疵事故とは、遊具等の未整備に起因する事故のことをいう。

主要施策４－５：公共交通などの充実

(1)令和3年度取組の概要

- ▶コミュニティバスについては、バス位置情報システムの公開やPayPay決済の導入、バス停でのローマ字表記の追加、緑ヶ浜、上府裏田地区への路線延長など利便性の向上に努めました。
- ▶町営渡船については、多言語対応の乗船券販売機を導入するとともに、電子マネーカード決済を導入し利便性の向上に努めました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
コミュニティバス『マリックス』の年間乗客数	240,170人	159,201人	173,460人	250,000人
コミュニティバス『マリックス』の満足度	—	未実施	未実施	70.0%

主要施策４－６：生活環境の充実

(1)令和3年度取組の概要

- ▶水道については、公共下水道の面整備に合わせて配水管を計画的に更新し、同時埋設や舗装復旧範囲の低減化により工事費用の削減に努めました。また、相島の水道(簡易水道)については、老朽化する浄水場等の施設について、令和4年度からの機械電気設備更新工事の発注に向け、国庫補助金を活用し詳細設計を行いました。
- ▶下水道が整備されてから3年が経過した地権者に対し、下水道の接続の啓発文書を発送しました。また、特定事業場に関しては水質検査を実施し、基準値を超える事業場に対して是正措置を求めました。
- ▶例年、草木の繁茂で苦情が出ている空き地の所有者には、事前通知書を送付し、繁茂する前に草刈りを実施してもらうように促しました。また、騒音や悪臭などに対しては、県や施設管理者と連携し、原因者の指導や立入検査等により改善につなげました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
配水管の耐震化率	38.3%	20.8%	20.8%	41.0%
下水道普及率*	84.9%	85.2%	86.0%	91.0%
河川等水質調査結果(BOD)	2.4mg/ℓ	2.9mg/ℓ	2.4mg/ℓ	現状維持

※ 認可区域内での下水道普及率を指しますので、浄化槽等は含みません。

基本目標 5：安全で安心して暮らせるまち



【方向性】

▶様々な自然災害に対応した防災対策の充実を図るとともに、地域の見守り活動をはじめとしたボランティア団体や地域福祉会、シニアクラブ、消防団などの関係団体と連携を強化し、住民の安全・安心に対する意識を高め、住民誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

主要施策 5－1：災害に強いまちづくりの推進

(1)令和3年度取組の概要

- ▶自主防災組織設立の働きかけにより新たに3行政区が設立し、24行政区中11行政区が設立となりました。
- ▶啓発物の配布や広報誌による消防団の活動、必要性を周知することで、消防団員の確保に努めました。また、計画的な消防資機材の整備などを行い、消防団活動の充実を図りました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
自主防災組織の設立割合	33.4%	33.40%	45.83%	50.0%
消防団員数	238人	239人	240人	246人

主要施策 5－2：防犯対策・交通安全対策の強化

(1)令和3年度取組の概要

- ▶37基の防犯灯を新規設置し、既存の216基の防犯灯をLEDに更新しました。
- ▶新型コロナウイルス感染症の影響もあり、規模を縮小するなど対策を講じて交通安全に対する啓発活動を行いました。また、児童・生徒への交通安全教室についても時期をずらすなど対策を講じながら実施し、交通安全教育の推進に努めました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
交通事故発生件数	201件	175件	181件	150件
刑法犯認知件数	170件	111件	164件	100件
高齢者交通安全講習受講者数	258人	104人	67人	300人

主要施策 5－3：住民生活の保護

(1)令和3年度取組の概要

- ▶新型コロナウイルス感染症の影響により消費者教育講座は目標回数まで至りませんでした。新宮高校3年生を対象に消費者学級を開催し、成人年齢引き下げにおける契約等のトラブルに関する注意喚起を行いました。
- ▶緊急事態に備えて、3回の全国一斉情報伝達訓練を実施しました。また、新たに4事業所と災害応援協定を締結することができました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
災害応援等協定を締結した事業所数	17団体	25団体	29団体	20団体
消費者教育講座の実施回数	5回	1回	3回	10回

基本目標 6：地域の魅力を活かし賑わいを生みだすまち



【方向性】

▶地域の特性を活かした魅力ある特産品開発や、支援制度の充実・UIJターンの促進等による人材確保を進めるとともに、町の産業を「稼げる産業」として確立させることで、意欲ある担い手のさらなる育成・誘致をめざします。また、新宮町の立地特性を活かした流通施設などの企業誘致を進めていくとともに、関係団体と連携した地域振興や観光振興を進めながら、町の賑わいと活力を生み出していきます。

主要施策 6－1：農水産業の振興

(1)令和3年度取組の概要

- ▶学校給食において、地元産野菜を積極的に活用することで、地産地消に努めました。
- ▶良好な漁場形成のために、継続的な種苗放流やガンガゼの駆除などの漁業再生事業の実施により、平均漁獲高を増やす取組を行いました。
- ▶九州電力と相島活性化協議会との協働事業である「Qでんにぎわい創業プロジェクト」において、新商品の企画、研究を行いました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
認定農業者数	21人	22人	22人	23人
体験農園の開設箇所数	4箇所	5箇所	5箇所	5箇所
農業従事者の平均所得額	△42,900円	△155,110円	△245,097円	200,000円
漁業従事者の平均漁獲高	128トン	125トン	136トン	135トン

主要施策 6－2：商工業の振興

(1)令和3年度取組の概要

- ▶商工会が実施するプレミアム付き商品券事業の支援を行いました。
- ▶おもてなし協会による「たべりい新宮！地産地消キャンペーン」の実施により、町内飲食店を回遊できる仕組みづくりができました。
- ▶商工会と連携して創業塾を実施し、2件の新規創業者を輩出することができました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
流通業誘致数、商業施設誘致数、 その他企業の誘致数	—	0件	0件	5件
特産品開発件数	—	5件	3件	5件
創業支援事業を受講した新規創業数	—	2件	2件	3件

主要施策 6－3：観光の振興

(1)令和3年度取組の概要

- ▶おもてなし協会に委託し、新宮中央駅に開設した観光案内所に非対面式の観光案内システムを導入し、来訪者がコロナ禍でも気軽に立ち寄れる環境を整えました。
- ▶「おるね」や「KASUYAプラス」「シティ情報ふくおか」「県だより」などの情報誌や九州朝日放送による「ふるさとWish」、観光案内サイト「新宮navi」による情報発信などのシティプロモーション活動を実施しました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
立花山登山者数	60,000人	60,000人	35,974人	65,000人
観光案内所利用者数	2,313人	755人	855人	3,500人 (2,500人)

※R7目標値の()の値は、新型コロナウイルス感染症の影響が今後5年間継続した場合を想定した目標値。

主要施策 6－4：地域振興の推進

(1)令和3年度取組の概要

- ▶福岡県が実施する空き家活用サポートセンター「イエカツ」の紹介や共同相談会への協賛を行うとともに、東京のふくおかよかとこ移住相談センターでの町勢要覧や観光パンフレットの配布により町のPRを行いました。また、空き家を探している人向けには、商工会登録の不動産業者のリストを配付できるように手配しました。
- ▶相島のお試し居住施設「^{かし}橋」のPRを行い、相島への移住希望者の相談業務を行いました。また、移住相談に対応するため、空き家の現地調査を行いました。
- ▶10月には東部地区観光交流拠点施設「こみんかみかん」をオープンしました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
相島への移住者数	2人	2人	10人	5人
古民家交流拠点来場者数	—	—	3,484人	1,000人
空き家バンクマッチング件数	—	—	1件	5件

基本目標 7：みんなの力でつくる持続可能なまち



【方向性】

▶住民が町や地域の資源や魅力の保全・活用方法を考え、誰もが安心して活動や生活ができるよう、地域の特性に応じた地域コミュニティを構築していくとともに、住民、企業、団体、行政などが連携した協働のまちづくりを積極的に推進していきます。また、発展著しいICTを積極的に活用した地域コミュニティへの支援や、生活利便性の向上に取り組んでいきます。

主要施策 7－1：協働のまちづくりの推進

(1)令和3年度取組の概要

- ▶令和4年度から運用できるように公共施設予約システムを導入し、インターネットで気軽に公共施設を予約できるように利便性の向上を図りました。
- ▶町のホームページや広報誌にまちづくり活動支援事業の募集や団体の情報、活動報告などを掲載し、啓発活動に努めましたが、新規団体の登録までには至りませんでした。
- ▶町のホームページ内のオープンデータとして新たにAED設置個所一覧を公開し、住民へ情報提供しました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
ボランティア団体・NPO団体の数	32団体	35団体	34団体	40団体
まちづくり活動支援団体登録数	20団体	21団体	20団体	30団体

主要施策 7－2：効率的な行財政運営

(1)令和3年度取組の概要

- ▶計画的な財政運営を行うために、令和2年度決算や実施計画、国の地方財政計画に基づき財政シミュレーションを策定しました。
- ▶自治体DXの推進に向けた職員研修を全国地域情報化推進協議会のメニューで実施しました。また、NTT西日本の協力で職員30人に対して、AIなどの実例体験を伴う研修を行いました。
- ▶福岡都市圏の共同事業として糟屋地区1市7町共同で「シティ情報ふくおか」に町内観光スポットや飲食店を掲載するとともに、かすや特集の別冊版も刊行しました。また、宗像糟屋北部広域連携プロジェクトにおいては、粕屋中南部地域と合同で外国人住民向け生活情報リーフレットとしてベトナム語版の作成を行いました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
町税の収納率	98.7%	98.21%	98.68%	99.0%
経常収支比率	90.1%	96.20%	84.70%	現状維持
実質公債費比率	7.3%	7.40%	7.50%	現状維持

主要施策 7－3：情報化の推進

(1)令和3年度取組の概要

- ▶新宮町役場のほか4箇所の公共施設へWi-Fi整備を実施しました。また、新宮・相島間の光ファイバー整備を行い、相島の通信環境を整備しました。
- ▶管理職や議員への業務タブレットやペーパーレス会議システムの導入、テレワークシステムの構築、公共施設予約システムなど先進技術の活用による業務効率化に取り組みました。
- ▶マイナンバーカード交付事業に併せて、マイナポータル登録やマイナポイント取得支援の取組を行いました。
- ▶公共料金の支払いにPayPayやLINE Payによる請求書支払いを導入しました。

(2)主要施策の指標の現状

指 標	R1実績値	R2実績値	R3現在値	R7目標値
マイナンバーカードの交付数	7,285件	13,701件	18,479件	23,000件
先進技術活用件数	0件	1件	4件	5件
オープンデータ公開数	6件	4件	5件	10件